

《平成28年度 教育委員会事務局 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

政策監	佐々木 亨
部長	明石 芳夫
理事	中瀬 悟嗣

重 平成28年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1 <豊かな心と人間性の育成> いじめの認知件数は増加傾向にあり、「草津市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめに対する職員の危機意識の向上、早期発見、対応等を総合的かつ効果的に推進しています。いじめの根絶に向けて、学校だけの指導にとどまらず、家庭、地域、関係機関との連携を強化しながら、子どもの自己肯定感を高め、豊かな感性や人間性を育む取り組みを進めていく必要があります。</p>	<p>① 「草津市いじめ防止基本方針」が策定されたことにより、学校だけでなく、家庭や地域、関係機関との密接な連携のもと、それぞれの役割と責任を自覚していじめの根絶に向けた取り組みを推進します。</p>	<p>【取組】 いじめや差別のない明るい学校を築き、児童生徒が好ましい人間関係のもとで安心して学校生活を送るための取り組みを支援します。 ① (事業費) 草津市いじめ等問題行動対策アドバイザー派遣事業 (事業費 1,406千円) 【成果目標】 必要な学校へ計画に基づきアドバイザーを派遣します。</p>	<p>【取組実績】 いじめや差別のない明るい学校を築き、児童生徒が好ましい人間関係のもとで安心して学校生活を送るために、問題行動が発生した学校に対していじめ等問題行動対策アドバイザーを派遣しました。派遣した学校では、問題行動等が発生した際に迅速かつ組織的に対応することができました。また、アドバイザーから教員への助言、児童生徒への指導やカウンセリング等を行うことにより、学校体制の強化を図ることができました。 【成果目標実績】 草津市いじめ等問題行動対策アドバイザー派遣(2名):1名(140日・560時間)1名(52日・112時間) (決算額 1,400千円)</p>
<p>2 <社会性を育む教育の充実> 不登校をはじめとする学校不適応行動には、学校・家庭・地域社会など子どもを取り巻く環境が影響していることが少なくありません。子どもたちの課題の解消を図るためには、本人に直接働きかけるとともに、本人を取り巻く環境の調整・改善に取り組む必要があります。</p>	<p>② 教育と社会福祉の分野において専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを「チーム学校」のスタッフとして配置することにより、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行い、個々の課題の解決を図ります。</p>	<p>【取組】 学校不適応の児童生徒の課題解決を図るために、教育と社会福祉の分野における専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置します。(事業費 1,662千円) ② 【成果目標】 スクールソーシャルワーカーによる相談・支援件数 20人</p>	<p>重 【取組実績】 学校不適応の児童生徒を支援するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、小中学校に派遣しました。スクールソーシャルワーカーは、家庭訪問や相談等による児童生徒や保護者への直接的な働きかけを行い、子どもを取り巻く環境の調整や改善を通じて、個々の課題の解決を図ることができました。 【成果目標実績】 スクールソーシャルワーカーによる相談・支援件数 80人 (決算額 1,638千円)</p>
<p>3 <児童生徒の体力向上> 児童の新体力テストの結果は全国平均よりも低く、日常の運動時間も少ない状況です。また、生徒のスポーツ中のけがは年々増加している状況です。 そこで、子どもが運動に関心を持ち、継続して取り組める施策を展開し、体力の向上などを図る必要があります。</p>	<p>③ 子どもが運動する機会や環境の充実を図るための効果的な取り組みを行うとともに、体育教科の授業改善により子どもの体力向上につなげます。</p>	<p>【取組】 子どもが運動に関心を持ち、継続して取り組めるよう、小学校では、引き続きダンス運動を行うほか、体育授業での予備的運動として新たにチャレンジタイムを実施するとともに、大学と連携して子どもの体力などに関するデータ収集・分析を行います。中学校ではスポーツドクターによる講習会などを開催し、子どもたちの体力向上に向けた取り組みを行います。 ③ (事業費) 小学校体力向上プロジェクト推進費 1,898千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 1,200千円 【成果目標】 ・チャレンジタイムを実施します。 ・ダンス教室の開催回数 14回 (平成27年度 14回) ・スポーツドクター講習会の開催回数 6回 (平成27年度 18回) ・スポーツトレーナー講習会の開催回数 18回 (平成27年度 18回)</p>	<p>重 【取組実績】 ・小学校では、楽しみながら運動ができるダンス教室を実施したほか、チャレンジタイムにて短時間運動プログラムを実施するとともに、大学と連携して、新体力テストの実施結果等に関するデータ収集・分析を行いました。 ・中学校では、スポーツ障害を予防するため、スポーツドクターやトレーナーによる講習会を実施しました。 ・また、これらの取組のさらなる推進に向けて、立命館大学スポーツ健康科学部や学校関係者により構成する「小・中学校体力向上プロジェクト推進会議」で議論を行いました。 ③ (事業費実績) 小学校体力向上プロジェクト推進費 1,517千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 1,200千円 【成果目標実績】 ・チャレンジタイムの実施 市内全小学校で実施 ・ダンス教室の開催回数 14回 ・スポーツドクター講習会の開催回数 6回 ・スポーツトレーナー講習会の開催回数 18回 ・小学5年生の新体力テストの全国平均点に対する市の平均点の割合 男子100.17% 女子97.20%</p>
<p>4 <草津市学びのセーフティーネットの構築> 子どもを取り巻く環境の変化や、家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、平日の放課後に安全な子どもの居場所の確保を図るとともに、子どもたちの自主的な学びを支援し、学習環境の確立や基礎的な学力の向上を促します。 また、すでに実施している小学5年生以上を対象とした「草津市土曜日学びの教室」「草津市放課後学びの教室」の充実を図り、義務教育期間中の切れ目のない「草津市学びのセーフティーネット」の構築を図ります。</p>	<p>④ すでに実施している小学5年生以上を対象とした「草津市土曜日学びの教室」「草津市放課後学びの教室」の充実を図り、小学1年生から4年生を対象とした「放課後自習広場」では、自分で取り組みたい学習を決め、やり遂げる経験を積み重ねることで、子どもの自主性を促し、自分の学習スタイルを見つけ、学習習慣を定着させることを目指します。</p>	<p>【取組】 「草津市土曜日学びの教室」「草津市放課後学びの教室」では、委託業者との契約により実施します。「放課後自習広場」では、宿題や復習等の課題に対して児童が自学自習する形をとることから、2名の支援員を配置します。 ④ (事業費) 放課後自習広場開設費 1,400千円 放課後学びの教室開催費 2,857千円 土曜日学びの教室開催費 3,537千円 【成果目標】 自己評価アンケートにおける肯定的な回答の割合 80.0%以上 (平成27年度 86.7%)</p>	<p>重 【取組実績】 「草津市土曜日学びの教室」「草津市放課後学びの教室」は、市内4会場で152名の参加があり、各会場で年間30回の教室を開催しました。さらに、「草津市放課後学びの教室」では、中学生対象に定期查対策教室も年間15回開催し、基礎学力の定着に効果がありました。また、「草津市放課後次週広場」は、市内6小学校で開催し合計407名の参加がありました。 ④ 【成果目標実績】 ・学びの教室参加者自己評価アンケート「学力がアップしたと思う」肯定的な回答の割合・・・89.2% ・自習広場参加者自己評価アンケート「参加してよかったと思う」肯定的な回答の割合・・・93.1% 決算額 放課後自習広場開設費 1,175千円 放課後学びの教室開催費 3,208千円 土曜日学びの教室開催費 2,657千円</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
5	<p><中学校給食の実施> 全国的に中学校給食の実施が進んでいることや、保護者から給食を望む声が上がっていることなどから、庁内検討委員会での検討や有識者との懇談、先進市への視察、児童生徒およびその保護者に行ったアンケート結果などから、中学校給食を実施する方針を定めたところです。 今後は、本市の財政状況や特性に適した実施方式等を検討する必要があります。</p>

2. 重点目標	
⑤	<p>成長期にある生徒に対して栄養バランスのとれた豊かな食事を提供し、健康の保持増進を図り、食に関する理解を深め、望ましい食習慣を養えるよう、他市の事例や食育の推進、コストシミュレーション、アレルギー対応などを踏まえ、本市に適した実施方式を決定するとともに、実施に向けた課題とその解決策を整理します。</p>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標	
⑤	<p>【取組】 有識者や市民、学校関係者等で構成する外部委員会を設置し、財政面なども含め、本市の状況に適した実施方式等の調査・検討を行い、中学校給食実施基本計画を策定します。 (事業費) 中学校給食導入検討費 7,578千円</p> <p>【成果目標】 中学校給食実施基本計画を策定します。</p>

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】	
⑤	<p>【取組実績】 教育委員会の附属機関として、学識経験者、公募市民、PTA代表、学校関係者で構成する中学校給食実施方式等検討委員会を設置し、望ましい中学校給食のあり方について検討しました。 検討委員会からの答申を踏まえ、平成29年2月に中学校給食実施基本計画を策定し、センター方式による中学校給食を平成32年度から実施することとしました。 (事業費実績) 中学校給食導入検討費 4,626千円</p> <p>【成果目標実績】 平成29年2月 中学校給食実施基本計画を策定</p>

6	<p><安全・安心でおいしい学校給食の提供> 食育の取り組みの一環である学校給食に対し、関心が注がれていることに応えていく必要があります。</p>
---	---

⑥	<p>安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めます。</p>
---	--------------------------------

⑥	<p>【取組】 市、栄養士、受託事業者、小学校が連携をとりながら、一体となって、安定した学校給食の提供に取り組みます。 栄養バランスに優れた「和食の推進・啓発」に取り組みます。 「減塩献立」、「手作り献立」、食物アレルギー原因の特定原材料の品目を「1日1品目まで」に努めます。 (事業費) 570,722千円</p> <p>【成果目標】 地産地消率 39%</p>
---	--

⑥	<p>【取組実績】 生産者、仕入業者、調理・洗浄業者、学校給食センター職員等、多くの人々がかわかり、安全・安心でおいしい学校給食を提供しました。 平成27年度から取組重点項目としている「減塩献立」、「手作り献立」、「同一アレルギー1日1品目まで」の3項目に加え、本年度から「和食の推進・啓発」にも取り組み、ご飯を主食とした和食の献立を基本とし、栄養バランスのとれたメニューを提供しました。 出来得る限り、地元産の食材活用に努めました。 給食実施回数 188回 (事業費実績) 559,776千円</p> <p>【成果目標実績】 地産地消率 49.2%</p>
---	---

7	<p><草津市独自の魅力ある教育の実現> 平成27年度に策定した「草津市教育情報化推進計画」に基づき、学校における『教育の情報化』に取り組む必要があります。 全ての児童生徒が「生きる力」につながる学力を身に付けることが必要です。 市内小学校高学年を対象に実施したアンケートにおいて、タブレット端末を使った授業は「よくわかる」「楽しい」と答えた児童の割合が90%を超え、児童の学習意欲の向上や、スキルの習得に一定の成果がありました。</p>
---	---

⑦	<p>ICTを活用した市独自の『草津型アクティブ・ラーニング』を実践し、「児童生徒が主体的に学ぶ授業」をあらゆる教科・領域で系統的に実施します。 ICT活用推進の核となるタブレット活用推進リーダーを育成するための研修や管理職を対象とした講習会、若手教員への訪問指導を実施し、教員全体のICT活用指導力の向上を図ります。 校務支援システムや総合教材ポータルサイトの利用を促進し、校務等に関する業務負担を軽減することで、教員が教材研究や児童生徒と向き合う時間を創出し、教育の質の向上を図ります。</p>
---	---

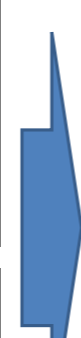
⑦	<p>【取組】 ICTを活用した効果的な指導方法を確立し、定着を図ります。研修の実施により、教員のICT活用指導力を向上させます。また、校務支援システムの活用により、校務の効率化を図ります。</p> <p>【成果目標】 授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合 90.0%以上 (平成27年度 89.2%) ICT活用指導力について「できるほうである」と回答した教員の割合 平均90%以上 (平成27年度 82.7%) 日本教育工学協会(JAET)の「学校情報化優良校」の認定取得 認定取得率 50%以上</p>
---	--

⑦	<p>【取組実績】 文部科学省委託の調査研究事業の実施などにより、ICTを活用した効果的な指導方法である草津型アクティブ・ラーニングのモデルカリキュラムや実践事例集を作成し、市内全小中学校に展開しました。 タブレット活用推進リーダー研修や教育研究所が実施しているスキルアップアドバイザー事業の活用、各種研修講座の実施などにより、教員のICT活用指導力の向上を図りました。 また、校務支援システムの活用による校務の効率化を図り、授業準備や教材研究、子どもと向き合う時間の確保に努めました。</p> <p>【成果目標実績】 授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合 87.7% ICT活用指導力について「できるほうである」と回答した教員の割合 平均 86.4% 日本教育工学協会(JAET)の「学校情報化優良校」の認定取得 認定取得率 90%</p>
---	---

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
<p>8 <子どもの読書活動の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが読書に親しみ、生きる力を支える読書習慣の確立をめざし、平成23年度から民間委託による学校司書の配置を行った結果、市内小中学校の学校図書館の読書環境が充実し、学習・情報センターとしての機能が向上しました。一方で、中学校においては図書館ボランティアが少なく、毎日開館することが困難な学校があります。 ・平成23年度からの「読書大好き草津の子ども推進事業」、平成26年度策定の「第2次草津市子ども読書活動推進計画」により、小学校図書館と市立図書館の連携事業として、市内全小学校への巡回配本「ブックん」、テーマ別団体図書貸し出し等を実施しました。今後、より効果的な活用を図るため、司書教諭と学校司書との意見交換を通じて、連携を深める必要があります。 ・未就学児から高齢者までの幅広い年齢層の市民がより快適に利用できる図書館サービスを実施する必要があります。



2. 重点目標
<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において定期的に「学校図書館運営部会」を開催し、管理職、司書教諭、学校司書、図書館運営サポーター、図書館ボランティア等による情報交換と年間指導計画に基づく運営管理を行い、図書館運営の充実と学校図書館の学習・情報センター機能の向上を図ります。 ・ビブリオバトルの運営に図書館運営サポーターやボランティアが参加することにより、子どもたちと市民の手による開催を目指します。 ⑨ ・さらなる子ども読書活動の推進を図るため、市立図書館と小中学校の学校図書館との連携を深め、司書教諭と学校司書との意見交換や運営へのアドバイスなどの支援を行い、読書環境の整備を充実します。 ・図書館運営サポーターや図書館ボランティアへの支援を行い、よりよい学校図書館の運営をサポートします。 ・未就学児から高齢者までの幅広い年齢層の市民が参加できる各種事業を実施するとともに、適切な資料の収集と貸し出しを行い、読書活動の推進と図書館利用促進を図ります。



3. 目標達成のための取り組みと成果目標
<p>⑧</p> <p>【取組】 各学校での学校図書館運営部会の開催を推進します。</p> <p>【成果目標】 学校図書館運営部会の定着割合 90.0%以上</p>
<p>⑨</p> <p>【取組】 市民の手によるビブリオバトルを運営します。</p> <p>【成果目標】 ビブリオバトルにかかる図書館ボランティア研修回数 3回</p>
<p>⑩</p> <p>【取組】 「ブックん」の効果的な活用や適切な学校図書館運営について、学校図書館教育部会・学校司書の会議に参加し、情報交換を行います。</p> <p>また、より参加しやすく、実践に役立つ学校図書館ボランティア交流会を開催します。</p> <p>【成果目標】 ・学校図書館教育部会への参加回数 1回 ・学校司書会議の開催回数 2回 ・学校図書館ボランティア交流会の開催回数 3回（平成27年度 3回）</p>
<p>⑪</p> <p>【取組】 幅広い年齢層の市民が参加できる各種事業の実施と適切な資料の貸し出しを行います。</p> <p>【成果目標】 ・未就学児向け …「図書館デビュー」3回 「キッズデー」3回 ・小学生以上向け…「図書館クイズラリー」3回 「利用案内講座」2回 「本紹介付きおみくじ」4日間 「ビブリオバトル」2回 「司書体験」1回 調べ学習用資料(パスファインダー)の配布 ・高齢者等向け …大活字本、録音図書の収集・貸出</p>



4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>⑧</p> <p>【取組実績】 学校図書館の活性化のため、管理職である校長を含めた学校図書館運営に携わるスタッフ(司書教諭・学校司書・図書館運営サポーター・図書館ボランティア等)が参加して、各校において定期的に学校図書館運営部会を開催し、年間指導計画の進捗状況の把握や課題の共有を図りました。</p> <p>【成果目標実績】 学校図書館運営部会の定着割合 90.0% ※年間3回以上開催のあった学校の割合</p>
<p>⑨</p> <p>【取組実績】 「くさつビブリオバトル2016」の実施に際し、ボランティアに対する研修を行い、前日までの準備に2名、当日の運営に5名の協力を得ることができました。</p> <p>【成果目標実績】 ビブリオバトルにかかる図書館ボランティア研修回数 3回</p>
<p>⑩</p> <p>【取組実績】 「ブックん」の効果的な活用や適切な学校図書館運営について、学校図書館教育部会・学校司書の会議に参加し、アンケート調査や情報交換を行いました。</p> <p>また、ボランティア心構えの講演や、参加しやすく実践に役立つ学校図書館ボランティア交流会を開催しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・学校図書館教育部会への参加回数 1回 ・学校司書と図書館との会議の開催回数 1回 ・学校図書館ボランティア交流会の開催回数 3回</p>
<p>⑪</p> <p>【取組実績】 未就学児から高齢者までの幅広い年齢層の市民が参加できる各種事業の実施と適切な資料の貸し出しを行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ・未就学児向け …「図書館デビュー」3回(各館3回) 「キッズデー」3回 ・小学生以上向け…「図書館クイズラリー」3回 「利用案内講座」2回 「本紹介付きおみくじ」4日間(両館) 「ビブリオバトル」3回(本館2・南館1) 「司書体験」1回 調べ学習用資料(パスファインダー)の作成・配布 13種 ・高齢者等向け …大活字本、録音図書の収集と貸し出し 大活字本 所蔵2,721冊(内60冊受け入れ) 貸出4,865冊 (平成28年度3.28現在) 録音図書 所蔵191点(内855冊受け入れ) (朗読CD) 貸出710冊(平成28年度3.28現在)</p>

9	<p><コミュニティ・スクールくさつの推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成10年度から全小中学校で「地域協働合校」の取り組みが行われており、学校教育活動を支援するシステムが定着しています。平成27年度には、さらなる地域人材の確保と新しいネットワークの確立を目指し、モデル校7校に地域コーディネーターを配置しました。今後は、人材や事業の固定化を防ぎ、教育活動に地域の力を的確に反映していく必要があります。
---	--

9	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ ・学校、家庭、地域の組織的な連携と協働体制を確立するため、地域協働合校の機能と学校関係者評価の機能を連携させた「学校運営委員会」を設置し、年4回程度の会議を通して、家庭や地域の参画を得ながら、学校経営の充実を目指します。 ・教育委員会が学校運営委員の研修会を実施し、学校の組織力や教育力を高めるための情報交換を行います。
---	---

12	<p>【取組】 事業推進校7校における学校運営委員会を実施します。</p> <p>【成果目標】 事業推進校7校における学校運営委員会の実施率 100%</p>
13	<p>【取組】 コミュニティスクール推進員を招聘し、学校運営委員研修会を実施します。</p> <p>【成果目標】 学校運営委員の研修会への参加率 70%</p>

12	<p>【取組実績】 事業推進校7校で学校運営委員会を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 事業推進校7校における学校運営委員会実施率 100%</p>
13	<p>【取組実績】 学校運営委員対象の研修会を2回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年8月18日 地域と学校の連携を考える研修会実施(39名参加) ・平成28年8月26日 地域とともにある学校づくり推進フォーラム奈良大会(5名参加) <p>【成果目標実績】 学校運営委員の研修会への参加率 61.2%</p>

<p>1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)</p> <p>10</p> <p><学校施設の整備> ・小中学校施設は年数の経過に伴い、照明、給排水等の付帯設備や内装、外壁の老朽化が著しい状態です。このため、老朽化対策のための大規模改造事業の実施時期については、建物の状況を踏まえながら計画的に実施していくことが必要です。また、プールやグラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、開校以来、未改修の学校が多く、今後ますます改修の必要性が増すと見込まれます。 ・学校施設の構造体の耐震化については既に完了していますが、天井や窓、備品等の非構造部材の耐震対策が今後必要となります。 ・高穂中学校では、周辺の宅地開発が進み、生徒数が年々増加しています。今後、教室数が不足することが想定されることから、校舎の増築が必要となります。</p>

<p>11</p> <p><総合教育会議の運営> 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により設置した、市長が主催する「総合教育会議」において、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るための重点施策などに関し、市長と教育長、教育委員が協議・調整を行う必要があります。</p>
--

<p>2. 重点目標</p> <p>10</p> <p>・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・小中学校の非構造部材の耐震対策を推進し、学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を行います。 ・教室不足が生じないよう、平成30年度の増築工事を目指し、基本設計業務を行います。</p>

<p>11</p> <p>総合教育会議において、本市の教育の方向性・重点的に講ずべき施策などに関し、市長と教育長、教育委員が十分な協議・調整を行い、本市の教育政策の方向性を共有します。</p>
--

<p>3. 目標達成のための取り組みと成果目標</p> <p>14</p> <p>【取組】 建築後、相当の年数が経過した校舎等学校施設の改修を計画的に実施するとともに、多目的トイレの設置や段差解消等、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 (事業費)平成28年度 29,311千円 老上小学校トイレ改修工事実施設計業務(1,988千円) 志津南小学校大規模改造1期工事実施設計業務(6,699千円) 玉川小学校グラウンド改修実施設計業務(2,441千円) 松原中学校大規模改造工事実施設計業務(7,582千円) 老上中学校大規模改造工事実施設計業務(10,601千円) (事業費)平成27年度予算繰越明許費 559,002千円 笠縫小学校トイレ改修工事(50,551千円) 笠縫小学校体育館改修工事(130,405千円) 笠縫小学校体育館大規模改造他工事監理業務(6,532千円) 新堂中学校大規模改造2期工事(364,560千円) 新堂中学校大規模改造2期工事監理業務(6,954千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、実施設計を完了します。</p>
--

<p>15</p> <p>【取組】 小中学校の非構造部材の耐震対策を推進するため、非構造部材改修工事を行います。 (事業費)64,638千円 小学校校舎棟非構造部材改修工事〔洪川、玉川〕(20,049千円) 中学校校舎棟非構造部材改修工事〔草津〕(25,454千円) 小学校校舎棟非構造部材改修工事監理業務〔洪川、玉川〕(2,429千円) 中学校校舎棟非構造部材改修工事監理業務〔草津〕(2,429千円) 小学校校舎棟非構造部材改修工事調査・点検・実施設計業務〔草津第二、南笠東〕(9,103千円) 中学校校舎棟非構造部材改修工事調査・点検・実施設計業務〔玉川〕(5,174千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、点検調査および実施設計を完了します。</p>

<p>16</p> <p>【取組】 平成30年度の増築工事を旨し、基本設計業務を行います。 (事業費)10,183千円 高穂中学校増築工事基本設計業務(10,183千円)</p> <p>【成果目標】 基本設計を完了します。</p>

<p>17</p> <p>【取組】 総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が本市教育の強みや成果と課題を共有し、教育政策の方向性について協議・調整を行います。 スケジュールおよび会議内容(予定) 第1回 平成28年5月10日 誰もが豊かな人生を送れる社会を目指して 第2回 平成28年9月下旬 「21世紀型能力」を育む教育について ～28年度全国学力・学習状況調査結果を受けて～ 第3回 平成28年11月下旬 望まれる中学校給食のあり方について</p> <p>【成果目標】 総合教育会議の開催回数 3回(平成27年度 4回)</p>
--

<p>4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】</p> <p>14</p> <p>【取組実績】 老朽化した校舎等学校施設の改修を計画的に進め、多目的トイレの設置や段差解消等、バリアフリー対応の工事・設計を実施しました。 【成果目標実績】 老上小学校トイレ改修工事実施設計業務(1,728千円) 志津南小学校大規模改造1期工事実施設計業務(6,665千円) 玉川小学校グラウンド改修実施設計業務(2,042千円) 松原中学校大規模改造工事実施設計業務(6,859千円) 老上中学校大規模改造工事実施設計業務(8,352千円) (平成27年度予算繰越明許事業) 笠縫小学校トイレ改修工事(44,718千円) 笠縫小学校体育館改修工事(111,095千円) 笠縫小学校体育館大規模改造他工事監理業務(3,176千円) 新堂中学校大規模改造2期工事(312,612千円) 新堂中学校大規模改造2期工事監理業務(7,334千円)</p>

<p>15</p> <p>【取組実績】 小中学校の非構造部材の耐震対策を推進するため、国の交付金を財源に取り込み非構造部材改修工事を予定していましたが、国の交付金の内示が11月となったことから年度内の工事の実施が不可能になったため平成29年度へ繰越し、工事を実施します。 一方で、工事に必要な調査点検実施設計業務については、計画的に実施しました。 【成果目標実績】 小学校校舎非構造部材改修工事調査・点検実施設計業務(8,832千円) 〔草津第二、南笠東〕 中学校校舎非構造部材改修工事調査・点検実施設計業務(4,452千円) 〔玉川〕</p>

<p>重</p> <p>16</p> <p>【取組実績】 平成30年度の増築工事を旨し、基本設計業務を実施しました。 【成果目標実績】 高穂中学校増築工事基本設計業務(8,424千円)</p>

<p>17</p> <p>【取組実績】 年3回の総合教育会議を開催し、本市の教育施策に関する成果と課題を共有し、今後の方向性について議論を行いました。 第1回 平成28年5月10日 〔学ぶ！生かす！つながる！ ～社会教育委員活動を通して～〕 第2回 平成28年10月11日 〔平成28年度全国学力・学習状況調査における草津市の結果と課題〕 第3回 平成29年2月10日 〔草津市の英語教育推進について〕 【成果目標実績】 総合教育会議 3回開催</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
12	<p><文化芸術の振興> 生活文化・地域文化・芸術文化を継承し、誰もがこれらにふれる機会を充実させることで”ふるさと草津の心”をさらに醸成していく必要があります。</p> <p><(仮称)文化振興条例の制定> ・市長マニフェストの実行にあたり、(仮称)文化振興条例および条例に基づく計画を策定する必要があります。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想が公表され、これを契機に全国各地でも自治体において文化条例の制定等、文化振興の機運が高まっています。</p>

2. 重点目標	
12	<p><文化芸術の振興> 分野や世代を越えて人をつなぎ新たな交流を生む文化芸術に関するイベントを開催し、文化芸術の持つ力によって市民の豊かな感性を育むとともに、担い手となる次世代の人づくりに努めます。</p> <p><(仮称)文化振興条例の制定> 教育委員会の附属機関として(仮称)草津市文化振興審議会を設置し、基本理念とともに、施策の基本となる事項を定め、文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するための条例化に向けて検討します。</p>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標	
18	<p>【取組】 多様なアート体験ができるプログラムをより多く取り入れた(仮称)くさつ市民アートフェスタ2016を開催します。 (事業費 380千円)</p> <p>【成果目標】 アートを通じた市民の交流を促進します。 体験参加者数 550人以上 (平成27年度 520人)</p>
19	<p>【取組】 (仮称)草津市文化振興審議会の開催と、現状把握とニーズ調査を実施します。</p> <p>【成果目標】 (仮称)文化振興条例の制定進捗率 80%</p>

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】	
18	<p>【取組実績】 多様なアート体験ができる子ども向けのプログラムを取り入れた「くさつ市民アート・フェスタ2016」を開催しました。 (事業費 380千円)</p> <p>【成果目標】 体験参加者数 1,338人</p>
19	<p>【取組実績】 ・文化振興審議会を開催しました。(4回) ・計画策定に向けた調査を実施しました。(市民意識調査、小中学生アンケート、文化団体調査およびヒアリング、企業調査、市民センター調査)</p> <p>【成果目標実績】 (仮称)文化振興条例の制定作業の進捗率 80% (条例案を作成し、パブリックコメントを実施)</p>

13	<p><文化財の調査・保存・活用> ・地域の各種開発に対応して埋蔵文化財の発掘調査を進めるため、調査体制の整備とともに保管・整理施設の再整備が必要です。 ・地域に根差した歴史遺産はまちの歴史文化、伝統を理解し、市民文化を新たに創造していくために不可欠であることから、各種文化財の調査結果、保管資料を公開することにより、市民の愛護意識を醸成し、文化財を生かしたまちづくりの推進のため、積極的な保全継承を図る必要があります。</p>
----	--

13	<p>・埋蔵文化財発掘体制につきましては、大規模開発等による発掘調査に対応するため、県の協力を得ることにより調査体制を強化します。 ・調査、収集資料の公開のためには調査成果の整理が不可欠であることから、整理、保管可能な埋蔵文化財調査センターの機能とともに、所蔵する歴史資料ならびに出土遺物等の適切な保存管理および公開のための専門施設建設に向けて、各種の行事を通じて機運を高めます。 ・国指定史跡草津宿本陣保存整備事業(土蔵2、4)を継続し、適切な保存管理を実施します。</p>
----	--

20	<p>【取組】 消失する遺跡の緊急的な措置として記録保存を図るための埋蔵文化財現地調査を実施します。また、歴史的建造物等の調査を実施します。 (事業費) 文化財調査費 6,174千円 開発関連遺跡調査費 68,175千円</p> <p>【成果目標】 調査を確実に進めます。</p>
21	<p>【取組】 文化財調査の調査成果等を市民へ還元するために、「草津市歴史資料コレクション展10」、「草津の古代を掘る2016」などの公開事業を実施するとともに、適正な所蔵資料の保管管理に努めます。 (事業費) 歴史伝統館整備費 884千円 文化財普及啓発費 340千円</p> <p>【成果目標】 各種行事参加者見込数 1,100人(平成27年度 1,182人)</p>
22	<p>【取組】 史跡草津宿本陣保存整備事業(土蔵2、4)を継続実施するとともに、整備後の公開方法の検討を行います。 (事業費) 史跡草津宿本陣整備費 21,138千円</p> <p>【成果目標】 ・土蔵2、4保存修理事業の進捗率 79.8% ・史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の両施設入館者数 31,200人 (平成27年度 33,348人)</p>

20	<p>【取組実績】 文化財調査費では、発掘調査12件(369.3㎡)・試掘調査47件・確認調査1件、開発関連遺跡発掘調査事業では、発掘調査4件・発掘調査整理6件を実施しました。その結果、南草津プリムタウン土地区画整理事業に伴う黒土遺跡発掘調査で、古代の長倉や東山道跡などを発見しました。 (事業費) 文化財調査費 6,165千円 開発関連遺跡発掘調査費 49,822千円</p> <p>【成果目標実績】 平成28年度発掘調査面積(目標値)は41,000㎡でしたが、調査依頼は72,716.37㎡あり、依頼のあった発掘調査をすべて終了しました。また、歴史的建造物調査では、立木神社本殿、印岐志呂神社本殿の実測調査を実施し、建築年代等実態を把握しました。</p>
21	<p>【取組実績】 ・古代の道路をテーマにした「草津の古代を掘る2016」および黒土遺跡発掘調査現地説明会を実施しました。 ・「草津市歴史資料コレクション展10」を、草津宿街道交流館にて実施しています。 (事業費) 歴史伝統館整備費 774千円 文化財普及啓発費 174千円</p> <p>【成果目標実績】 「草津の古代を掘る2016」・黒土遺跡発掘調査現地説明会の参加者 280名 ※「草津市歴史資料コレクション展10」は、会期(3/18～5/21)の入館者見込数1,400人のうち、前半(3/18～3/31)で467人の入館者がありました。</p>
22	<p>【取組実績】 史跡草津宿本陣保存整備事業(土蔵2、4)を継続して実施し、土蔵4の修繕を終えました。 また、土蔵4の公開方法について、所有者と調整を図りました。 (事業費) 史跡草津宿本陣保存整備費 20,978千円</p> <p>【成果目標実績】 第2期整備事業の進捗率 78.1% 史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の入館者数 33,329人</p>

14	<p><文化財の調査・保存・活用> 史跡草津宿本陣および草津宿街道交流館では、江戸時代の宿場町草津の歴史的特性を市域内外に発信し、さまざまな事業を展開することで、両施設への入館者数を維持しています。さらなる魅力ある事業の展開や、これまでとは異なる年代など、新たな層に関心をもってもらえる事業の実施や、発信方法の工夫などが必要です。また、子どもたちが草津宿本陣をはじめ草津の文化財に親しむ機会が少ないのが現状です。</p>
----	--

14	<p>史跡草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業を魅力的なものとし、街道を通じたネットワークの強化を図り、草津宿の積極的な発信に努めます。また、学校との連携を進め、子どもたちのふるさと意識の向上に努めるとともに、草津に残る貴重な歴史・文化資源の調査・保存、そして継承に努めます。</p>
----	---

23	<p>【取組】 文化財である史跡草津宿本陣の積極的な活用と、歴史資源の調査などから史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の魅力ある事業展開を図るとともに、発信力の強化に努めます。また、子どもたちのふるさと草津への関心を高めるため、学校との連携強化を進めます。</p> <p>【成果目標】 史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の両施設入館者数 31,200人 (平成27年度 33,348人)</p>
----	--

23	<p>【取組実績】 史跡草津宿本陣楽座館での伝統芸能鑑賞講座を継続して実施するほか、草津宿本陣の新発見資料を公開展示するなど魅力発信に努めました。また、学校との連携事業として出前授業やタブレットを活用した遠隔授業を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の両館の入館者数 33,329人</p>
----	---

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
15	<p><地域協働合校事業の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成10年度から、学社融合の考え方に立って、学校・家庭・地域がそれぞれの持つ教育機能を生かしながら、地域文化や自然体験活動など子どもと大人が協働して取り組むことで、共に学びあい高めあう『共育ち』の場として活動を進めてきました。 ・培われてきた「地域で子どもを見守り育てる」意識を大切にしながら、子どもの豊かな学びと地域の大人の活躍の場をさらに広げるため、平成27年度から市内7小学校へ地域コーディネーターを配置し、地域・学校のニーズを把握し、パイプ役として活動を進めています。

2. 重点目標	
15	<p>『活動内容の新たな視点からの広がり』や『活動に関わった地域の方の増』といった、コーディネーターを先行導入した7校での成果を市内全小学校へもつなげることができるよう、コーディネーター間の連携や情報共有を進めながら、「ALLくさつで子どもを守り育てる」意識の醸成を図ります。</p>

3. 目標達成のための取り組みと成果目標	
24	<p>【取組】 より多くの地域の方が関わることで、子どもの豊かな経験・学びにつなげます。 (事業費) 地域協働合校推進事業 7,991千円 市内全小学校に地域コーディネーターを配置</p> <p>【成果目標】 小学校地域協働合校への地域の大人の参加者 44,000人以上 (平成27年度 35,302人)</p>

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】	
24	<p>【取組実績】 定期的に情報交換や研修会を行い、コーディネーター間の情報共有やネットワークを深め、新たな協働活動への広がりやそれぞれの地域資源・特徴を生かした取組を進めました。 (事業費) 地域協働合校推進事業 7,873千円 市内全小学校へ地域コーディネーター配置</p> <p>【成果目標実績】 各校の地域コーディネーターが関係者と調整を重ね、支援ボランティアの呼びかけに工夫を重ねた結果、昨年度実績を超える多くの地域の人の参加を得て、子どもの豊かな学びの経験と、地域の人の活躍の機会につなげることができました。 小学校地域協働合校への地域の大人の参加者 平成28年度 35,492人</p>